



Handa Byouin Dayori

半田病院だより



令和5年10月16日に、YouTube動画の撮影を行いました。
医師・看護師がヒートショックについて説明を行っている動画です。
当院YouTubeアカウントにてアップしておりますので、ぜひご覧ください。チャンネル登録もよろしくお願いします！

半田市立半田病院 広報部会



新年のご挨拶

院長 渡邊 和彦

新年明けましておめでとうございます。

令和2年1月に国内で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されてから一向に収束する気配がありませんでしたが、令和5年5月8日に5類感染症に移行後は、大きな感染の波も訪れず、当院におきましてもようやく「通常の診療」が行えるようになってきました。ただ、面会制限につきましては現在も継続しており、ご不自由をお掛けし、皆様方のご理解ご協力に感謝申し上げます。

さて、本年は新病院建設及び常滑市民病院との経営統合に向けて重要な1年となります。

新病院建設工事につきましては、令和4年の7月より建設地の造成工事を開始し、令和5年11月29日には上棟式を挙行いたしました。現在は順調に建物本体の工事をすすめており、令和6年10月末には完成する予定であります。「良質な医療の提供を通じて、地域社会に貢献します。」という理念のもと、知多半島医療圏を支える新病院の実現に向け、職員一丸となり取り組んで参りますので、ご期待ください。

常滑市民病院との経営統合では、両病院の長所を取り入れ、業務の効率化と組織文化の融和を図るべく、各部門での人事交流を積極的に進めております。そして、令和5年末には両病院の各診療科における機能分担につきましても、概ね決定いたしました。今回の経営統合による最大の目的は、「両病院でしっかりとした診療機能分担をすることにより、知多半島の医療を充実させること」であります。地域の皆様が安心して暮らせるよう、より良い医療を提供できる体制を構築してまいります。

最後になりますが、新年を迎え、知多半島医療圏における唯一の三次救急医療機関としての使命を全うすべく頑張っ参りますので、皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



ヒートショックについて動画で解説♪

冬はヒートショックにご注意を!

救命救急センター 医師 太平 周作

ヒートショックをご存じですか?ヒトは外気温の寒暖差から体温を維持するために血管が縮んだり緩んだりします。血管が縮むと血圧が上がり、緩むと血圧が下がります。こういったことを短時間の間に繰り返すことによって体に大きな負担をかけて、様々な病態を引き起こすことがあります。これがヒートショックのメカニズムです。

例えば冷えたお風呂場に行くとき体温の低下を防ぐために血管は縮んで熱の放出を防ごうとします。すると血圧が上昇します。寒いのでお風呂に入ります。暖かい湯船に入ると体が温まるので、体温を調整するために血管は緩みます。そうすると血圧が低下します。

このような急速な血圧の変動によってこういった病気が生じるのでしょうか。軽いものではめまいや吐き気、頭痛、脱力感などを来します。重篤なものでは、大動脈解離、脳梗塞、心筋梗塞などを来すことがあります。重篤な疾患が発症した場合にはそのまま死に至ることがありますし、軽い症状でも一過性に意識を失ってしまえば、湯船に浸かっていると溺れて死に至ることもあります。

気温が比較的高い春、夏、秋ではこのような事が生じることは比較的少なく、寒い冬に発生することが圧倒的に多いです。

また血管が柔らかくしなやかな若年者では血管の壁の弾力で圧力を受け流す事ができますが、動脈硬化が強く血管が硬い方はなりやすいと言えます。動脈硬化が生じやすい基礎疾患としては糖尿病や高血圧、肥満、脂質異常症などの生活習慣病が挙げられます。

予防法としては、

- ① 入浴前に脱衣所と浴室を暖める。
- ② お湯の温度は熱すぎず、41度以下にする。湯に浸かる時間は10分程度を目安にする。
- ③ お湯をためすぎると、万が一意識がなくなったときに顔が浸かってしまうので、湯をためる量は胸下にする。
- ④ 食後すぐの入浴や飲酒後の入浴は避ける。

症状が起こったときの対処法は、「めまい」「立ちくらみ」が起こった時、

- ① その場にゆっくりとしゃがみ込む。
- ② 可能であれば横になって血圧の変動が落ち着くのを待つ。
- ③ ゆっくりと深呼吸をし、水分など摂れるようなら少量ずつ口に含みリラックスを心がける。

重度の症状では「意識消失」を引き起こすことがあります。浴槽内で意識消失している人を見つけたら、

- ① 浴槽の栓を抜く。
- ② 大声で人を呼んで集める。
- ③ 救急車を要請する。

あとは119番の指示に従ってください。

高齢者のお一人暮らしの方や高齢者夫婦のみの世帯は見守りサービスを導入する事も安心につながります。プランによってはボタン一つで駆けつけてもらえたり、救急車手配をサポートしてくれるサービスもありますので行政の方に相談し、検討してみるのもよいかもしれません。

ヒートショックは誰にでも起こりうる可能性があります、知っていれば防ぐことができます!



新病院建設室のお仕事

新病院建設室は、一級建築士や一級建築施工管理技士、一級土木施工管理技士、情報セキュリティスペシャリスト、診療放射線技師、臨床工学技士等の国家資格を持つ建築系職員や土木系職員、医療系職員等の総勢8名の職員で構成しています。

そのうちの5名は他の企業やクリニックでの職歴があり、その経験を今回の新病院建設事業に活かしながら、日々の業務にあたっています。

新病院建設事業が本格的に始動した2017年当時は、3名の職員で建設構想の改訂や新病院建設場所の再検討をメイン業務としていましたが、7年経過した現在は、業務内容の変化や業務量の増加に伴って職員数も増加し、業務内容も建設工事監理のほか、医療情報システムの検討や医療機器選定・発注業務等へとシフトしていきました。

現在、建設現場では、建物の骨組みがほぼ組み上がり、今年10月末の建物完成に向け、計画通り順調に工事が進んでいます。今後は、外部ではその鉄骨の周りに外壁やサッシを取付ける工事を、内部では間仕切り壁を造り、部屋の内装などの仕上げ工事を進めていきます。

建物完成後も、2025年4月1日の新病院開院まで、外部では植栽工事を行い、建物の中では医療機器の搬入や試運転等をして、開院の準備を進めてまいります。

新病院の工事、移転に際しましては、皆様にご迷惑をおかけいたしますが、引き続きご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ある日のある職員の日

8:30	9:30	11:00	12:00	13:30	15:00	16:00	17:15
朝礼	課内会議	院内調整	昼休み	移動 定例会議	現場巡視	各種施工 分科会	移動 施工図・施工 計画書等確認



統合準備室からのお知らせ

2025年4月1日に半田病院と常滑市民病院は、地方独立行政法人化による経営統合を行います。法人名は、「地方独立行政法人知多半島総合医療機構」、病院名は、それぞれ「知多半島総合医療センター」、「知多半島りんくう病院」となる予定です。

それぞれの病院の主な役割(予定)は以下のとおりです。

知多半島総合医療センターの主な役割(予定)

- ① 知多半島医療圏内で唯一の救命救急センター(三次救急)を運営し、高度急性期医療を中心とした急性期医療を提供します。
- ② 災害拠点病院として広域的災害等の際には傷病者の受入れなどの災害医療を行います。
- ③ 地域周産期母子医療センターを運営し、周産期・小児医療を提供します。
- ④ 地域がん診療連携拠点病院として、予防から手術、放射線治療及び薬物療法等の専門的ながん医療を担います。
- ⑤ 脳卒中や心筋梗塞等に迅速に対応し、内科的・外科的治療、リハビリテーションを効果的に提供します。

知多半島りんくう病院の主な役割(予定)

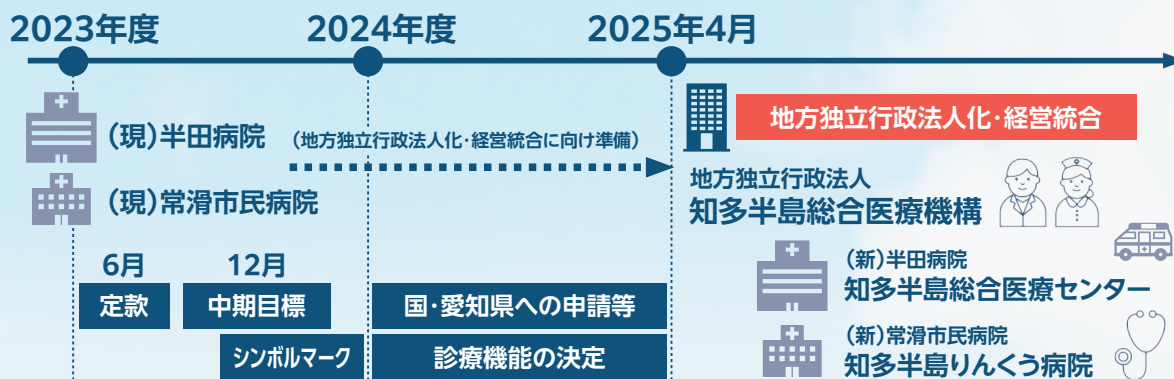
- ① 特定感染症指定医療機関として、新興感染症の発生時には、国・県・周辺医療機関等と連携し、受入体制強化に努め、先導的かつ中核的な役割を果たします。
- ② 知多半島総合医療センターと連携し、疾病治療と急性期・回復期を通じたリハビリテーションを実施します。
- ③ 人工授精、体外受精などの高度生殖医療を積極的に推進し、また妊孕性を高める医療を提供します。

2023年6月に法人の定款を半田市議会・常滑市議会で議決し、今年度中に法人が達成すべき業務運営に関する目標となる中期目標の策定や、公募を行いました法人のシンボルマークを決定する予定です。

2024年度には国や愛知県への各種申請・認可手続きを進め、各病院の具体的な診療機能を決定し、市民の皆様へ必要な情報をお届けする予定です。

新たな法人が運営する2つの病院にて知多半島医療圏の地域医療の中核を担い、急性期から回復期に係る医療を提供し、地域の皆様の健康を支え続けていきます。

2025年4月の地方独立行政法人化及び経営統合の前後は市民の皆様へご迷惑をおかけするかと思いますが、ご理解ご協力をお願いいたします。



+ 病院だより+ 新病院コラム その 15



新病院JV

明けましておめでとうございます。

当院にとって、記念すべき令和6年(2024年)の幕開けです。

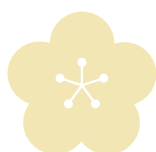
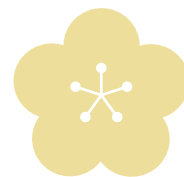
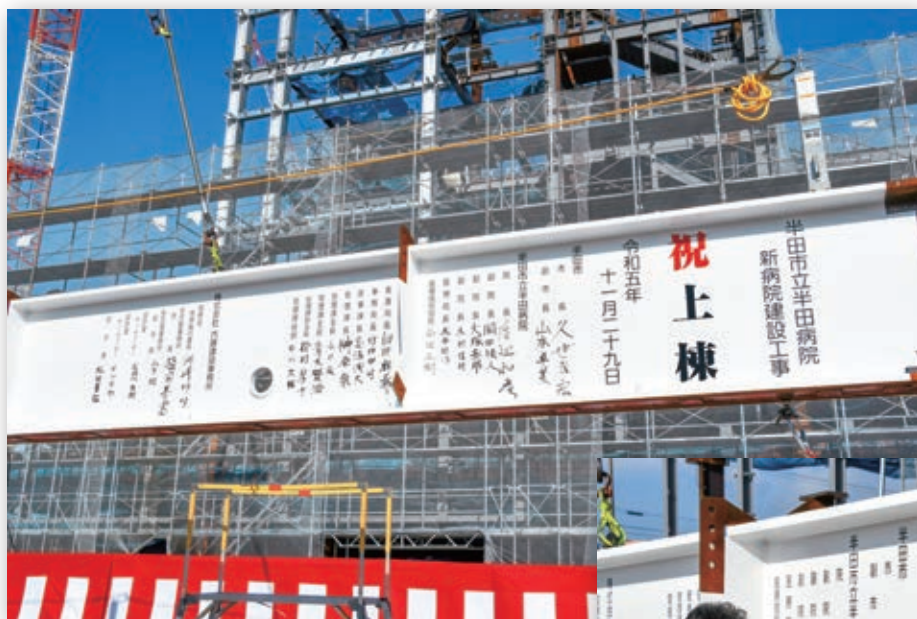
昨年1月のこのコラムでは、その2か月前の11月に起工式を行ったことをお知らせしました。その起工式から1年余り。皆様のご理解、ご協力のおかげで、工事は順調に進んでいます。建物の骨組みも出来上がり、昨年11月29日には上棟式を行うことができました。

地下部分の鉄骨工事に取り掛かったのが昨年の7月19日。1階部分の鉄骨を組み立て始めたのは10月17日でした。それまでの地盤改良工事や基礎工事、免震装置設置工事に費やした時間と比較すると、本当に「あっ!!」という間でした。

10月末の建物完成まで、残すところ10か月。

工事期間中、通行車両の増加や騒音、交通規制等、大変ご迷惑をおかけいたしますが、細心の注意を払って事業を進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

工事の進捗状況は、新半田病院JVのホームページ(右上のQRコード)にも掲載していますので、ぜひご覧ください。



半田市立半田病院 広報部会 (事務局 管理課)

〒475-8599 愛知県半田市東洋町2丁目29番地 TEL 0569-22-9881 FAX 0569-24-3253
Eメール byouin@city.handa.lg.jp URL <https://www.handa-hosp.jp>



ホームページ



YouTube